

中田 國太郎 選 投稿数17首

引間 豊作 選 投稿数24句

戦争を語り継ぐ元兵士らの戦地の実話に身震い覚ゆ
 (評) 年々戦争体験者も高齢化しその語り部も少なくなってきた。このような現実の中で、作者は、元兵士の戦争の実話を聞いた。読書という間接的な体験より、生々しい体験の心情のまつわる実感を通しての語は、迫力があり結句で「身震い覚ゆ」と表現している。この点に共感を覚えた。南方の島でヘビやトカゲを食べ、毒草まで食べて餓死していた戦友の話聞いたことがあった。戦争とは、個人の人間性を全く無視した悲惨なものである。加藤将之の「語ることを止しけれども戦者はよどみなくその妻を慕ふ」の歌に胸を締め付けられた。四方田作都会の男らの生活の哀感がにじむ。

大都会電車が通るガード下赤ちようちんに男ら集ふ
 上日野沢 四方田利男
 みな元氣ただそれだけでいいんだよ妻と孫娘の国際電話
 皆野 新井 茂
 息浅くなりゆく夫をみとりしを偲び秋氣を胸深く吸う
 三沢 眞下 杏子
 微笑める遺影は淋しありし日に思いはつる姉の新盆
 皆野 新井 愛子
 蝉しぐれ雨の葉月は重々と別れ惜しむごと雨に消え去る
 金崎 山田 雅子
 形見なる藍の小袖を身に纏ひ亡母と寿ぐ十五夜の月
 皆野 笠原三三子
 夜明け前茄子ときゅうりを朝採りし直売所へ急ぐ八十六の現役
 皆野 金子善次郎
 両親の法要に集ふうかららの思い出話に在りし日偲ぶ
 下日野沢 浅見 豊子
 日曜の短歌俳句を待ち居りて学ぶは余生あかるく
 三沢 鈴木 キク
 汗光り広がる緑さわやかにテニスコートに昼餉の車座
 下田野 安井 光代
 お食いぞめ曾孫しつかり抱きてゐる夫九十二才シャッターの音色に
 皆野 塩田 千代
 三沢川濁りににぎり魚の姿影もうつらず雨降りしきる
 三沢 鈴木 貞恵

夏草の無人駅舎や小海線
 (評) 小海線とは山梨県の小淵沢より、丁良では最も標高の高い三三五メートルの八ヶ岳山麓を経て、長野県の小諸を結ぶ「カル線」。所要時間は一時間程で途中には、八千穂野辺山 清里などの観光地を持ち、中央本線と長野新幹線を結ぶ主要ルートでありながら、秩父と同様に鄙びた風光を備え持つ。駅員不在の駅もある。そこに降り立った作者は、「面に茂た草のいきれと容赦ない日射しに噤せながら、あの「夏草」兵どもが夢の跡の芭蕉「奥の細道」が自然に口ずさまれたと思つたと羨ましくさう思つ。拾われて猫まん丸に夏が行く

金沢 青木富佐子
 芒咲き辻に朝日のががやけり
 三沢 鈴木 キク
 玄関に君の描きたる夏景色
 日野沢 植木 豊子
 秋彼岸地酒も供え蔵めぐり
 金崎 設楽 武子
 一花二花気ままに秋の鉄線花
 三沢 眞下 杏子
 後期高齢少しほけたか青ぶどう
 三沢 沢野 恒平
 萩の花活けて客待つ湯宿かな
 金沢 関和 トヨ
 ひぐらしの啼いてひとしほ夕ごろ
 下田野 藤田 稔
 知らぬ間に起つ夜半の風栗落とす
 下田野 藤原 道男
 一本の胡瓜をわけし鈴虫と
 三沢 鈴木 貞恵
 皆野 植竹美恵子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 1人1句、1首に限りです。
8日必着

※9月号俳句 横田ハルジさんの作品【誤】「労働者ぬ亡夫転ぶな茄子の馬【正】労働者ぬ亡夫よ転ぶな茄子の馬 お詫びして訂正します。



潤大くん

日野沢下区
 河野 忠政さん
 香織さん
 ニコニコ笑顔で
 いやしてくれる潤大は
 家族の宝です♡



遥ちゃん

中大浜区
 根岸 寛さん
 美恵子さん
 お兄ちゃんに負けないくらい
 元氣な遥ちゃん。
 みんな大好きだよ♡



理菜ちゃん

駒形区
 大谷 紀浩さん
 英里さん
 いつもニコニコ元氣なリナ。
 優しい女の子に育つてね!!



穂菜美ちゃん

駒形区
 小林 清和さん
 素野美さん
 にいにいとねえねえだいすき。
 元氣いっぱい育つてネ。

※満1歳の赤ちゃんを募集します。11月号の締め切りは、10月10日(金)まで。ホームページからも応募できます。